

2/8
衆院選

◆一人ひとりの人権、個人の尊厳が大切にされる社会に——差別と分断をあおる政治を許しません

ジェンダー平等社会実現へ、ともに力をあわせます

- 選択的夫婦別姓、同性婚の法制化を実現します
- 男女賃金格差の是正にむけ、企業に賃金格差の実態を正確に公表させるとともに、格差是正の計画策定を義務づけ、政府がそれを監督・奨励する仕組みをつくります

差別と分断をあおる極右・排外主義の政治に、断固として反対を貫きます

- 差別と分断をあおる極右・排外主義の政治に、断固として反対を貫きます。一人ひとりの尊厳が大切にされる社会の実現へ、力を合わせます

◆日本共産党には政治を変える力があります——この党の躍進を

自民党の裏金問題を暴露し、追及したのは、日本共産党と機関紙「しんぶん赤旗」です。「しんぶん赤旗」の報道をもとに、検察への告発が行われ、検察が政治資金規正法違反で摘発したことでメディアも報道し、自民党も逃れられなくなり、衆参両院で与党過半数割れという国民の厳しい審判を受けたのです。日本共産党と「しんぶん赤旗」がなければ、いまも「裏金は裏のまま」でした。

日本共産党は、草の根の力で国民とともに要求実現を進めます。全国2200人をこえる地方議員と1万7千の党支部が、国民と結びつき、要求実現に日夜取り組んでいます。学校給食の無償化も、子どもの医療費無料化も、住民のみなさんが地方議会に請願を出し、力を合わせて採択を広げ、国民の声を背景に国会で論戦し、国政を動かすまでになりました。

日本共産党は、企業・団体献金も、政党助成金も受け取らず、誰に遠慮もなく、不正を追及できます。口先だけではない、ほんものの改革の力があります。

共同の力で政治を変える——日本共産党の大方針です。一致する政党や団体、そして幅広い市民の方々と力を合わせてこそ、自民党政治を変えることができます。いまも、日本共産党は、高市政権とそれに迎合する勢力に正面から対決して、「憲法を真ん中にすえた確かな共同」をよびかけ、共同の力で、日本国憲法を壊す戦争への道、極右・排外主義の流れに立ち向かおうと力をつくしています。

日本共産党をのばせば、政治は必ず変わります。どうか、この選挙で日本共産党を躍進させてください。

「比例代表は日本共産党に」の声を広げに広げてください。昭和区・天白区・緑区=愛知3区のみなさんのご支援を心からお願ひします。

日本共産党愛知3区後援会ニュース【部内資料】

〒468-0052名古屋市天白区井口1-2017 TEL.052-807-1092 FAX.052-807-1096

<https://tamio.jcpweb.net> shibata@tamio.jcpweb.net 発行 日本共産党昭天緑地区委員会

柴田

元名古屋市会議員

たみお



たみニャン



LINE公式アカウント

日本共産党

暮らし・平和・人権 国民のためにはづれずにはづくます

原点は自らが子どもの時公害病認定患者だったこと。資本主義によって弱いものが犠牲になる社会を変えたいと入党しました。4人の子どもを保育園・学童保育でともに育て、次世代に平和な世界と豊かな環境を残すことが政治の責任と信念を貫いてきました。暮らし・環境・平和を破壊する悪政からとことん暮らしを守り、とことん平和を守り、とことん人権を守ります。

日本共産党 柴田たみおの重点政策

◆高市自民・維新政権と正面から対決し、自民党政治そのものを変える

- 大株主と大企業応援の政治から、国民の暮らし第一の政治へと転換し、物価高から暮らしを守り、暮らしに安心と希望を届けます。
- 「力の支配」をふりかざすアメリカ言いなりをやめ、外交の力で平和な日本とアジアをつくります。
- 一人ひとりの人権、人の尊厳が大切にされる社会のために、政治の姿勢を転換し、差別と分断をあおる政治を許しません。

◆大株主・大企業応援から、国民の暮らし第一の政治に一物価高から暮らしを守り、暮らしに安心を

株価も大企業の利益も“史上最高”、でも暮らしは“赤字”

自民党の二つの経済失政の大転換が必要です

すべての国民に安心と希望をとどける政治を－日本共産党の提案

- 物価高騰を上回る大幅な賃上げ
- 労働時間を短縮し、“自由な時間”を増やす
- 消費税の廃止をめざし、ただちに5%に減税、インボイスは廃止
- 社会保障の削減路線をやめさせ、拡充にきりかえる
- 教育への公的支出を増やし、教育費の負担軽減を
- 食と農の安心を
- 原発の再稼働・新增設に反対し、“原発ゼロ”的日本をめざす
- 公平・公正な財源政策で、暮らしを支える予算を確保する



◆「力の支配」をふりかざすアメリカ言いなりをやめ、外交の力で平和をつくる自主自立の日本を

アメリカ言いなりを続けてよいのでしょうか

- 「日米同盟絶対」で、「力の支配」を公言するトランプ政権にひととも批判できない“アメリカいいなり”外交から、自主的平和的外交に切り替えます
- 国連憲章と国際法に基づく平和の国際秩序をつくる外交に取り組みます

平和と暮らしを壊し、憲法も専守防衛も眼中にない大軍拡を止める

- 軍事費の大増額に反対し、軍事費「GDP比3.5%」=21兆円を許さず「防衛特別所得税」などの軍拡増税をやめさせます
- 他国を攻撃するための長射程ミサイル配備・ミサイル列島化をはじめ、アメリカとともに戦争するための大軍拡に反対します
- 沖縄・辺野古の米軍新基地建設に反対、日米地位協定の抜本改定を求めます
- 非核三原則の放棄を許さず、核兵器禁止条約への参加を求めます
- 日本を「死の商人国家」にする武器輸出全面解禁に反対します
- 国民を監視し、基本的人権を侵害する「スパイ防止法」に反対します
- 集団的自衛権を容認し、米軍とともに戦争する国づくりをすすめる、憲法違反の戦争法=安保法制を廃止し、「安保3文書」を撤回させます
- 憲法9条を守り抜き、改憲策動を許しません

日中関係一言うべきことを言いつつ、両国関係の前向き打開の外交に力つくす

- 「日中提言」にもとづき、中国に対して言うべきことを言いつつ、両国関係の前向きの打開のための外交に知恵と力をつくします
- 台湾海峡の平和と安定は、地域と世界の平和と安定にかかわる重要な問題です。日本共産党は平和的解決を強く求めます。そのさい、台湾住民の自由に表明された民意を尊重すべきです。わが党は、中国の台湾に対する武力行使や武力による威嚇に反対します。同時に、日本と米国が軍事的に関与・介入することに反対します

- 「東アジア平和提言」にもとづき、対話と包摂で平和をつくる独自の外交に力をそそぎます

プロフィール

1965年生まれ。名古屋大学理学部物理学科卒。元松栄学童保育クラブ運営委員長。人業（ひとわざ）劇団ひらき座副代表。元愛知教育大学非常勤講師。元名古屋市議会議員(2015年4月～2019年4月)。PINパソコンクリニック

